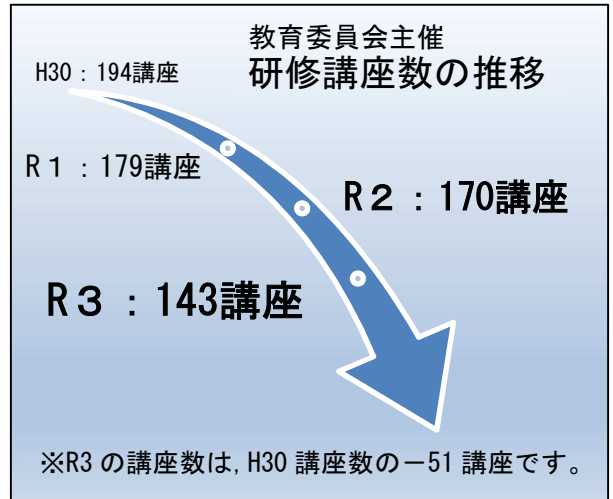
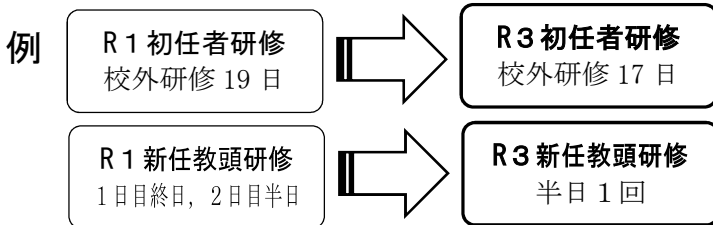


## 教育委員会主催研修の精選

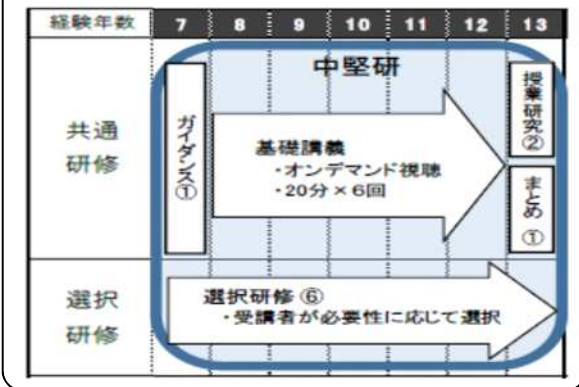
第3次多忙化解消行動計画 窓3 教育委員会主催研修の精選・オンライン化の推進 No.12【新規】

教育委員会では、毎年、働き方改革の視点、研修講座の効果的な運用の視点、効率的かつ充実した研修内容の視点から、研修講座の充実、統合、縮減等を行っています。

また、複数日に渡る研修講座においては日数の縮減を、全日日程の研修講座においては半日日程に変更するなどの見直しも進めています。



### 令和6年度からの 中堅教諭等資質向上研修



中堅教諭等資質向上研修については、これまで教職13年目に受講対象となっていました。令和3年度は、受講対象者を教職12年目と13年目としました。

令和4年度は、10、11、12年目が受講開始となります。

今後、順次対象を拡大し、令和6年度は教職7年目に受講を開始し、13年目までの7年間で受講するようになります。



このことにより、受講者は、産育休など自分のライフプランに合わせて受講することができるようになります。また、オンデマンド研修で時間に縛られず受講できるようにしたり、受講者のニーズに合った研修が受けられるように選択研修を取り入れたりしています。

## 研修のオンライン化

教育委員会では、研修講座のオンライン化を進めています。講義中心の研修講座については、積極的にオンライン研修、オンデマンド研修で実施するようにしています。講義中心の講座であっても、アウトブレイク機能を使ったグループ活動を行うなど、受講者の満足感につながる研修となるように計画しています。

また、オンライン研修については、研修講座の開始時刻を15時としています。集合による研修講座より開始時刻を1時間遅らせたことで、受講者の負担の軽減を図っています。

令和3年度の教育委員会主催の研修講座については、全研修講座の31%をオンライン研修で計画しています。



研修開始までの時間に学級事務ができてとても良いです！

研修がある日も子どもにかかわる時間がたっぷりとれます！



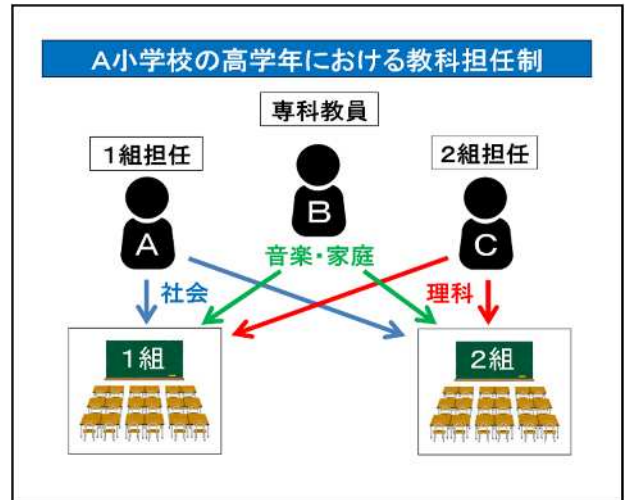
# 教科担任制の導入で授業の質向上・教員の負担軽減を目指す

第3次多忙解消行動計画 窓3 小学校高学年における教科担任制の推進 No.19【拡充】

各学年2クラスのA小学校は、校長が学校経営の方針に高学年教科担任制を明示するとともに、そのねらいを次のように設定し、取組を進めています。

- 複数の教員による多面的・多角的な子ども理解  
※担任と子どもの相性への配慮
- 学級差が生じない一貫性のある指導と評価
- 教材研究、準備、評価等について、担任の時間的な負担軽減

A小学校の高学年の教科担任制は、「学年内の授業交換（理科・社会）」と「専科教員による授業（音楽・家庭）」の組み合わせによって展開されています。



5・6年生とも学年主任は、教科担任制による指導を既に経験済み。もう一人の学級担任は、2人ともこのような教科担任制による指導は初めてでした。学年主任のリードのもと、授業を行うための打合せや児童の様子についての情報共有が展開されています。各学年で取組を進める中で、上述の教科担任制のねらいを実感する学級担任の姿がありました。

4名とも「教科担任制の導入により、学級経営がしにくいということはない」と述べています。

校長は、これまでの自校の取組を授業の実際を参観したり、学級担任の声に耳を傾けたりしながら、次のように振り返っています。

- 教材研究の負担軽減、評価の負担軽減、評価のずれの防止と、授業準備から評価にかけての学級担任の満足度が高かった。学級担任の時間的なゆとりが生まれたことが効果として大きい。
- 同じ内容を教えることで、授業者自身の指導法の上達にも効果的であった。実態が違うことで反応が違うことからアプローチの検討を実態に合わせて組みなおし、発問や授業の流れ等、検討することで授業力の向上につながった。
- 学級担任によっては、学年の都合で、自分の受け持ちたい教科を教科担任制の入教にせざるを得ない場合が生じた。他教科での交換と考えても、1教科と2教科という組み合わせになったり、授業時数が異なる教科で取り組めなかったりと、教科選択の難しさがある。また、学年内の都合により、不得意教科をもつことになると、負担感が増すことになる。

本年度の教科担任制の取組から見てきた成果と課題から、今後の展望について校長は次のように述べています。

「例えば、外国語や理科等の専門性が高い教員が低学年の担任となった場合、『三すくみ』で教科を交換しながら指導を担当するといった工夫も考えていきたい…」

高学年の教科担任制の導入による教員の働き方改革が、着実に一歩ずつ前に進んでいきます。